



副院長就任ご挨拶および 地域医療支援病院認定のご報告

副院長 飯田 正人

昨年4月に特任副院長を拝命しました。私は2007年10月から内科と血液・腫瘍内科の診療を担当しておりますが、院内の地域医療連携推進委員会の委員長と患者支援センターの総括センター長を兼務しておりますので、このたび当院が地域医療支援病院の認定を受けた経緯や当院の役割について簡単に説明させていただきます。

■地域医療支援病院とは

川崎病院は、2018年8月29日付で兵庫県知事から県内34病院目の「地域医療支援病院」の承認を受けました。地域医療支援病院とは、地域の病院や診療所（「かかりつけ医」）を後方支援する病院、すなわち病診（病院－診療所）連携を強め地域医療を強化する目的で1997年4月に創設された制度です。

■地域医療支援病院の役割とは

地域医療支援病院は以下の要件を求められています。

- 病床数が200床以上であること
- 紹介患者を中心とした医療の提供をおこなっていること
⇒当院では、他の医療機関からの紹介率が50%以上、他の医療機関への逆紹介率が70%以上の基準を満たしています。
- 救急医療を提供する能力を備えていること。
⇒救急科・高度治療室（HCU）を擁し、24時間体制で救急医療を提供しています。
- 他の医療機関に対し病床や医療機器・設備を提供し共同利用していること。
- 地域の医療従事者を対象とした教育・研修の機会を提供していること。
⇒各分野のテーマについて、院内・院外の医療従事者を対象とした勉強会や研修会を年間12回以上おこなっています。

当院での急性期の治療が一段落し、病状の安定した患者さんについては、原則として地域のかかりつけ医に逆紹介させていただいて以後、診療所に通院していただきます。ただ疾患や病態の特殊性によっては地域の先生方と当院が協力して治療や経過観察をおこなっていく場合もあります。病診連携は、診療の効率性を追求するのが最終目的ではなく地域の診療所と病院が質の高い医療を地域の皆様に提供するための手段（ネットワーク）と考えております。

■地域医療支援病院の課題

地域医療支援病院の制度がスタートしてすでに21年が経

過し病診連携が全国どこでも当たり前となり一定の役割を果たしたともいわれていますが、医師数の多い都市部とそうでない過疎地における地域医療支援病院のニーズの違いが鮮明になったことや在宅医療を提供する「かかりつけ医」を後方から支援する在宅医療支援病院と地域医療支援病院の役割の違いについても議論されているところです。

当院の主な医療圏である兵庫区・長田区は、神戸市のなかでも最も高齢化が進んでいる地域で、当院では高齢者の急性期と回復期の医療を担っていくことが自らの使命と捉えております。診療所の患者さんのほか老健・介護施設からの患者さんを積極的に受け入れ、治療がひと段落した段階で在宅や施設にスムーズに戻れるようしてまいりますのでどうか宜しくお願いいたします。



■最後に、小生担当の血液腫瘍内科では、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群、白血病の化学療法（抗がん剤治療）を中心におこなっています。血液疾患においても高齢者や合併症のある患者さんが多いため抗がん剤治療の開始は入院でおこない、治療が軌道にのったら外来化学療法室に通院治療させていただいておりますが、各々の患者さんの生活状況や副作用の出現に注意し、きめ細かくアドバイスをしながら患者さんが安心して治療に臨めるよう心がけております。

地域医療支援病院の認定は受けましたが、川崎病院が名実ともに地域医療を支援していくには地域のかかりつけ医の先生方との密接な連携が不可欠です。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

ピッツバーグ大学医療センター研修報告

循環器内科 田中 克尚

この度10月1日(月)～5日(金)に米国ペンシルベニア州にあるピッツバーグ大学医療センターで開催されたリーダーシップスキル講習会(対象：後期研修医)に参加しました。ピッツバーグでの研修を通じて感じたことは指導者が学習者をどのように指導していくべきであるかが確立しているということでした。

指導を行う際には指導者はまずRIME modelを使用して、学習者がどの立場にいるかを把握します。RIME modelとはReporter, Interpreter, Manager, Educatorの4文字の頭文字をとっています。学習者が情報を伝えることしか出来ない者か(reporter)、情報を理解している者か(interpreter)、情報を解決するために計画を出来る者か(manager)、指導することまで出来る者か(educator)を判別します。その後、Miller's pyramidに沿って、その学習者にどういった課題を与えれば良いかを考えます。与えた課題に対する効果的なfeedbackをするために5 micro skillsが用いられます。5 micro skillsとは① Get a commitment ② prove for supporting evidence ③ reinforce what was right ④ correct mistakes ⑤ teach the general principlesの5つを指します。学習者に自身の考えを述べて

もらい、その根拠を確認します。出来ていた部分をどんなことであったとしても必ず褒めます。その後、間違っていた部分を訂正し、一般論を説明するという形です。ピッツバーグではRIME model → Miller's pyramid → 5 micro skillsの流れで指導をしています。

成人学習は子供の教育のように先生-生徒の関係では上手くいきません。指導者-学習者でなくてはなりません。成人教育には1.学習者に目標がある 2.新しい学びに対する価値や利益がある 3.過去の経験を新しいものへ適応する 4.問題に対する解決方法のプロセスを重視するという4原則があります。つまり、成人学習は学習者自身に何らかの明確な目標があり、今までの経験を元に新たな問題解決の方法を学んでいくことです。指導者はそれを「教える」者ではなく、「手助けする」者でなくてはなりません。指導者にはその心構えで指導にあたる必要があります。指導するために必要なことを他にもたくさん勉強させていただきましたが、文字数の都合上残念ながら割愛させていただきます。今回の研修内容は知らなかったことばかりでした。研修内容を活かせるように少しずつ指導していけたらと考えています。

専門特殊外来等担当医表

学会などの諸事情により代診、休診になる場合もあります。専門特殊外来は原則、予約(または一般外来の受診)が必要です。

診療科	月	火	水	木	金	土(第2・4は休診)				
内科	午前	大塚 章人 【糖尿病外来】	大塚 章人 【糖尿病外来】	桑迫 崇裕 【予防接種外来】	村井 潤 【糖尿病外来】	大塚 章人 【糖尿病外来】	佐竹 渉 【神経内科外来】	市原 紀久雄 【糖尿病外来】	古川 皓一 【呼吸器外来】
	午後	粕本 博臣 【腎臓外来】	久保 聡子 【糖尿病外来】	村井 潤 【糖尿病外来】	粕本 博臣 【腎臓外来】	吉岡 潤哉 【呼吸器外来】	中村 正(第1・3・5) 酒井 保奈(第2・4) 【禁煙外来】	長谷 善明 【腫瘍外来】	飯田 正人 【血液外来】
消化器内科	午前	前田 哲男	野村 祐介	前田 哲男	野村 祐介	西田 悠
総合診療科	午前	高井 研次	松田 守弘	松田 守弘	高井 研次
循環器内科	午前	担当医 【心臓血管外科外来】(注)	高橋 怜嗣 (第1・3・5) 【不整脈外来】
	午後	(第1・3) 【ペースメーカー外来】
外科	午前	谷野 裕一 【乳腺外来】	(第2・4) 【ストマ外来】 9:00～	木許 健生 (第1・3) 【乳腺外来】
	午後	柴北 宗顕 【直腸肛門外来】 14:30～
整形外科	午前	河合 光徳 【人工関節外来(膝・股)】	戸祭 正喜 【スポーツ外来】
耳鼻咽喉科	午後	(第1・3・4・5) 【補聴器外来】要外来受診
形成外科	午前
	午後	【レーザー外来】 完全予約制

(注)心臓血管外科外来では、心臓弁膜症などの疾患に対する外科的治療について検討を行い、手術適応症例については大阪大学心臓血管外科(患者さんの希望によっては近隣病院)に紹介致します。

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。 電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297

その他、各診療科にて力を注いでいる疾患・治療

(注)学会など諸事情により代診、休診になる場合もあります。あらかじめご了承ください。

標榜科	専門	医師名および診療曜日	標榜科	専門	医師名および診療曜日
内科	肥満、高脂血症、痛風	中村 正(月曜 午前/水曜 午前)	整形外科	小児全般	戸祭 正喜 (月曜 午前)
	血液	飯田 正人(月曜 午前/水曜 午前/木曜 午前)		手全般	
	腎臓	辻尾 成人(月曜 午後)		スポーツ障害全般	
	糖尿病	市原 紀久雄(月曜 午前)		睡眠時無呼吸症候群	
循環器内科	消化器	多田 秀敏(火曜 午前/金曜 午前)	耳鼻咽喉科	中耳炎	下屋 聡子 (月、水、木、金、土 午前) 土曜日は第3・5のみ
	冠動脈疾患	全医師が対応致します		アレルギー性鼻炎	
	末梢動脈疾患			副鼻腔炎	
	心不全			扁桃炎	
外科	骨粗鬆症	西堀 祥晴(月曜 午前/木曜 午前)	形成外科	声帯ポリープ	村上 英毅 (月、火、木、金 午前)
	消化器癌の外科的治療 (近年は腹腔鏡手術に 力を入れております)	谷川 隆彦(月曜 午前/水曜 午前/金曜 午前)		突発性難聴	
		村上 雅一(火曜 午前)		顔面神経麻痺	
		木村 聡宏(木曜 午前)		顔面骨折	
星野 宏光(木曜 午前)		皮膚・軟部組織損傷(全身)			
肝胆脾領域の悪性疾患 胆石症、虫垂炎、ソケイヘルニア などの外科的疾患	星野 宏光(木曜 午前)	瘢痕・瘢痕拘縮	歯科 口腔外科	眼瞼下垂症	全医師が対応致します
	全医師が対応致します	俊山 礼志(月曜 午前)		下肢静脈瘤(潰瘍を伴う重度の症例も対応)	
		全医師が対応致します		*手術内容に応じて変更になることがあります	
眼科	涙道手術	松場 眞弓(火曜 午前/水曜 午前/金曜 午前)	形成外科	腫瘍(悪性、良性)	全医師が対応致します
				顎骨骨折	
眼科	涙道手術	松場 眞弓(火曜 午前/水曜 午前/金曜 午前)	形成外科	インプラントおよび インプラントのための骨再生	全医師が対応致します
				形成外科	

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。 電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297